人と人、人と暮らし、
人と未来をつなぐ住まいを
沼田町がご提案します。

つなぐらす

沼田町　空き家リノベーションプロジェクト

マチナカで
寄り添って
暮らしませんか。

「つなぐらす」沼田町空き家リノベーションプロジェクト

北海道の中央部より少しだけ西側、
沼田町は三千二百人ほどの人々がおだやかに暮らす
小さなまちです。

今このまちでは市街地の歩いて暮らせる範囲に
病院や介護施設、スーパーマーケットなどを集積させ
住民がもっと便利に、もっと温かく、もっと豊かに暮らすための
コンパクトエコタウン構想が進められています。
そしてこの構想を推進するための目玉となるのが、
市街地を中心とした空き家を改築し
魅力的な住空間をつくると同時に
そこに移り住んでくれる移住者を広く募るという試みです。

その名も「つなぐらす〜沼田町空き家リノベーションプロジェクト」

沼田町？リノベーション？移住者？多分、あなたの頭の中は
今たくさんの「？」で埋めつくされているはず。
それを一つひとつ解いていくのが、
このブックレットの役割なのです。

さまざまな施策に取り組むコンパクトエコタウン構想。その主軸となるのが今回のリノベーションプロジェクトです。

沼田町 空き家リノベーションプロジェクト
つなぐらす

空き家住宅リノベーションのシンボルロゴも制作。人と人、人と暮らし、人と未来をつなぐ住まいをビジュアル化しました。

モダンな家に住む、沼田町で暮らす。小さなまちからの、大きな提案です。

沼田町長
金平 嘉則

沼田町のリノベーション住宅で暮らしませんか。

沼田町をご存知でしょうか。北海道第二の都市、旭川市から30㎞ほど西にある、豊かな森林と田園風景に抱かれた小さなまち。ほたるの里や夜高あんどん祭りでその名を耳にしたことがあるという方がおられるかもしれませんね。

現在このまちでは『つなぐらす〜沼田町リノベーション住宅プロジェクト』という施策が進められています。行政と建築士の全面的な支援のもと、家主さんの高齢化などで空き家になってしまったマチナカの住まいを、モダンで快適な住まいにリノベーションして提供するという取り組みです。

「沼田町民ではない私には、関係のない話でしょ…」

いえいえ、実は大いに関係があります。生まれ変わったその家々に住んでいただきたいのは、これを目にしている一人ひとりのあなた。町外などから沼田町のリノベーション住宅に移り住み、この町で新しい暮らしを営んでくれるご夫婦やご家族を募集する、ということもプロジェクトの大きな目的なのです。

じっくり知ること、しっかり納得することが大切です。

新しい家に住む、沼田町で暮らす。その決断がたやすくないことは十分に理解しています。仕事、子育て、教育、医療や保健、介護…ご自身や家族の生活を取り巻く全てに関して、納得と満足ができなければ、移住の決断をすべきではないと私も思います。

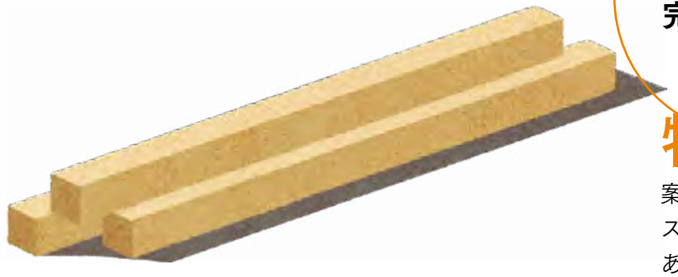
なのでこの小冊子では、リノベーション住宅のイメージのほか、行政サービスや各種支援や補助の制度など、沼田町に移り住んだ方々の思いが伝わるインタビューも掲載しています。その情報や記事の一つひとつを読んでいただければ、「どこかにある小さなまち」だった沼田町が、少し身近に、少し親しみを感じる存在になるはず。それが沼田町とあなたの『最初のつながり』になると思うのです。

5 リノベーション住宅の つの柱

あなたにご提案するのは、
魅力的な住まいと、豊かさを実感する暮らし。
全国的に注目を集めるユニークな
プロジェクトです。

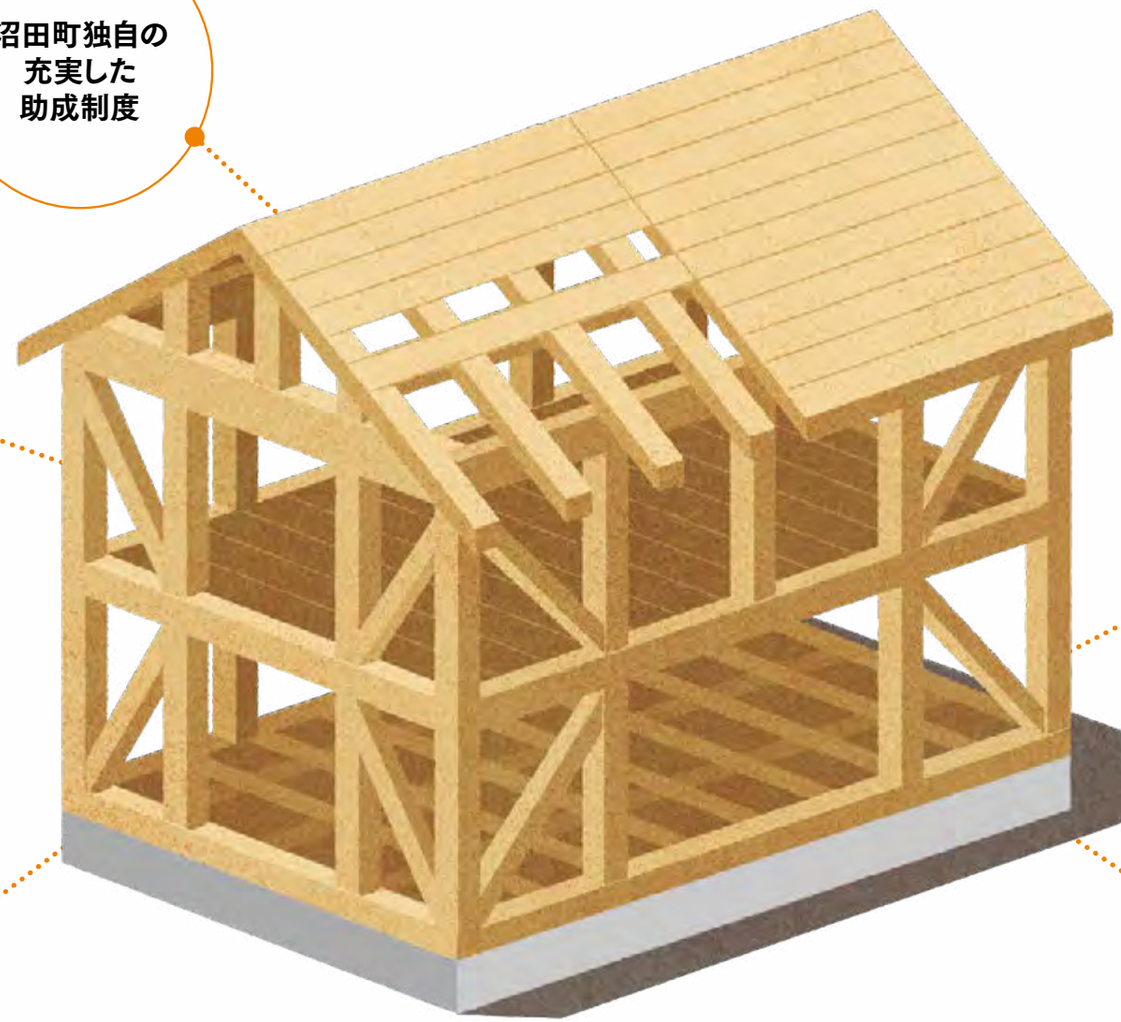
1 高水準リノベーションの追求

新築のさらに上を目指したコンセプトの提案。沼田町に合った暮らし方を考えた、ライフデザインを提案する設計を行っています。それでいて価格も抑え、新たに入居される方の想いも反映することができる柔軟性も兼ね備えています。



2 沼田町の完全サポート

物件資料の請求はもちろん、町の生活に関わる情報から、助成の制度のご提案、子育て支援や学校の情報まで、全てワンストップで対応します。仕事の情報提供もあわせて可能。暮らし方・生き方までを、安心して相談できるのが、個別移住と比べて、大きなメリットです。



3 沼田町独自の充実した助成制度

住宅に関わる助成制度だけでなく、子育て世代の助成制度も充実。保育料の助成、小中一貫した教育環境や、中学生までの医療費無料など、数多くの支援で安心した暮らしを送ることができます。また、介護施設の拡充にも積極的に取り組んでおり、生涯安心して暮らせる制度や体制が整っています。

4 新鋭建築士がデザインを担当

本書で提案するのは、沼田町と一級建築士が考えに考え抜いたコンセプト案。設計者も最先端の商業施設から店舗デザイン、地域に関わる大型施設などに関わる設計会社が監修していますから、普通の住宅をリフォームするクラスを遙かに超えながらも、身近で住む方の声に耳を傾けたデザインになっています。

5 お試し住宅でまず体験も

資料請求や、誌面・Webだけの情報で判断できないという方も多いはず。そんな方にはちょっとした旅行も兼ねて、沼田町のちょっと暮らし住宅で、町民体験も可能です。数ある物件を見てまわったり、担当者と相談したりなどもできますのでお気軽に。ほたるの住む町、雪原の広がる町、のどかな畑に囲まれる町。四季によっていろんな町の風景も見ることができます。

移住体験のためのシェアハウス。
格安で宿泊ができます。

介護施設などで働きながらの
移住体験も可能です。

もっと知りたい。
しっかり聞きたい。

リノベーション住宅 Q&A

住まいの購入や新しい町への引っ越しは、
期待が大きい反面、不安や疑問もあるはず。
特に本プロジェクトは沼田町が
全国に先駆けて取り組むものでもあり
気になる点も多々あるかと思います。
ここでは皆様から寄せられた疑問にお答えします。

Q1 住宅に住んでみたい！そう思ったらどうしたらいい？かかる費用は？

ご紹介しているリノベーション住宅は、売買・賃貸・その両方対応可能などが混在しています。また、現在はそれぞれに違うオーナーがおり、最終的には個別に契約いただくことになります。その情報の取り次ぎや、移住に関わるサポートを町が担っているというスタイルになっています。通常の住宅と同様に、契約が完了してしまった物件については、ご案内ができない場合がありますので、**まずは現在の成約状況や費用をお電話・メール・Webなどでご確認下さい。**もちろん、まだ住みたい物件が決まっていない状況でもご相談いただけます。

Q2 どうして今、空き家になっているの？なぜ行政が行うの？

ご高齢でお子さんの元に移られたり、施設に入られたりなどの理由で、手放そうとされている方、転勤や転職などでやむなく沼田町を離れる方など、理由はさまざまですが、根幹にあるのは全国的な課題である過疎化です。沼田町では、報道で言われているような空き家をどんどん解体していくことを推奨していません。住まい環境が整っていない状態での移住の提案ではなく、町民と一緒になって、**今ある町の資産を安価で、**そしてさらに住まうことの魅力に付加価値をつけて提供したいと考えています。

Q3 内覧することはできるの？

もちろん可能です。ただ、事前にスケジュールの調整が必要になりますので、**まずはお問い合わせください。**

Q4 融資などの相談はできるの？

沼田町と本事業で連携している**金融機関をご紹介**できます。

Q5 プラン通りにしか住宅をリノベーションできないのですか？

こちらでご紹介しているのは、あくまでも沼田町として提案したい住宅の一例に過ぎません。**担当の設計者と相談の上、ご要望に添ってリデザインすることも可能です。**住まわれる方の家族構成や年齢、職業や趣味などによって、設計方法も変わってくると思いますので、**いろいろご希望をお伝え下さい。**最終的なプランや契約などが確定してから、実際の施工がスタートします。

Q6 移住者は多いの？移住者に優しい町なの？

本書でも紹介しています通り、**移住して来られた方もとても多い町です。**移住者同士の支え合いもありますし、もちろん地元の住民も新しい方が来られることを心待ちにしています。

Q7 移住と共に、農業の仕事もやってみたい！相談に乗ってもらえますか？

沼田町は農業も重要な産業の1つで、多くの作物が栽培されています。**農業に従事する方法も千差万別。**新規就農として起業する方法から、農業生産法人に就職する方法、季節的なアルバイトとして働く方法、農業の近いところの農産加工場で働く方法など、**ご希望をご相談ください。**専門スタッフと話すこともできます。

Q8 起業したい、現在の会社の経営拠点を移したいというのも可能ですか？

もちろん可能です。ITに関するインフラは整っていますので、**都市圏の仕事を沼田町で行うことは充分可能です。**また、主要都市とも近く、ビジネスを広げてくのにも立地的なハンデは多くありません。現在、カフェをオープンしたい、パン屋をやってみたいなど、夢を実現しようとしているなど、夢を実現しようとしている方々もいらっしゃいます。

Q9 雪道の運転が心配…ちゃんと除雪もしてくれる？

積雪地域が抱える大きな課題のひとつが除雪（道路や玄関前に降り積もった雪を取り除くこと）です。沼田町も雪が多く降る地域。真綿のような雪が創りだす幻想的な景色は大きな魅力ですが、その一方雪国での生活経験のない方が心配されるのは、除雪と冬期の車の運転です。でもご安心を。沼田町の行政サービスによる道路の除排雪能力の高さは折り紙つき。ある程度の積雪になると、**主要道路から生活道路に至る町内の隅々まで、大型の重機でスピーディに雪を取り除いています。**都市部と違って道路幅も広く見通しもよいので、移住されてきた方の多くは雪道運転にもすぐに慣れていただいているようです。

ちなみにリノベーション住宅はすべて駐車場付き。別途駐車場代などは不要です。

Q10 とりあえず問い合わせだけでもいいですか？

もちろん大歓迎です。沼田町に興味を持っていただけで、本当にうれしく思います。**移住コーディネーターも在籍していますので、**どうぞお気軽にご相談ください。また、お問い合わせいただきましても、過度な勧誘や個人情報の転用などはありませんので、ご安心ください。

NUMATA'S

11棟の個性が集う、リノベーション住宅

今回のリノベーションプランは
北海道でも特に実績のある一級建築士事務所が担当しています。
さらにその一軒一軒は、ユニークで独創的なテーマを持ち、
その居住空間で紡がれる魅力的なライフスタイルや
沼田町での穏やかで豊かな暮らしまで提案しています。
もちろんそれは私たちが描いたイメージのひとつ。
そのプランを活かすのもそのイメージをふくらませるのも自由。
あなたの思いや夢が「住まい」というカタチになるまで
沼田町が丁寧にサポートしていきます。

暮らし方をイメージさせる新感覚リノベーションを。

一級建築士事務所
「株式会社アトリエブンク」
池村 菜々氏

沼田小学校の設計を担当したご縁もあり、今回のプロジェクトのコーディネート役を担わせて頂きました。最初に手がけたのは設計チームの編成。住宅設計の経験が豊富な鈴木理さんと室賀さん、沼田町在住の設計事務所ｔｏｃｏｔｏの山本さん（29Pにて紹介）にお声がけし、現在の家屋の状況や周辺の環境を調査しました。

その最中に生まれたのが「リノベーションにテーマを持たせては」というアイデア。魅力的な家に住むという観点だけではなく、沼田町に移住し豊かな環境の中で新たな暮らしを紡いでいく、ということを思い描けるような具体的なイメージを各々の家に持たせようと考えました。

住まわれる方が未定という状況に加えメンバーの創造力の高さもあり、ラインナップした11の設計プランは、どれも個性的。「丘の上のパン屋さん」「蕎麦教室のある家」など憧れのライフスタイルを再現したプランもあれば、「ヤギ小屋のある家」のように型破りな発想が盛り込めたものも。もちろんこのプランを活かすのも、飛躍させるのも自由。この設計図をもとに新しいアイデアを練るなど、楽しんで見てもらいたいです。

これからの家族の暮らし方を映し出すリノベーション住宅の提案。全国でも極めて珍しいこの取り組みの成功を応援しています。

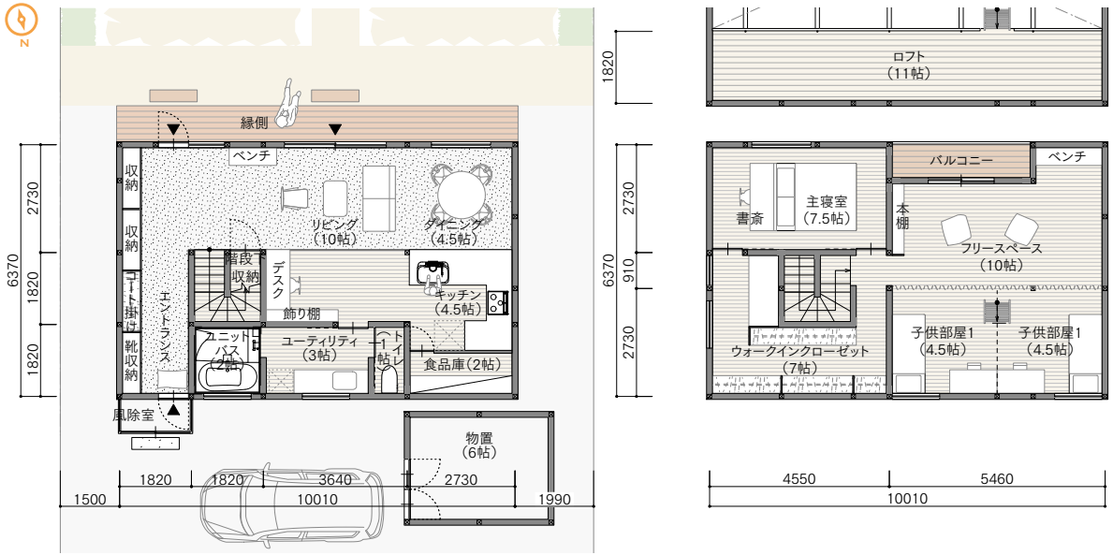
大胆なイメージと高水準の機能性を成立させたプランです。

一級建築士事務所
「株式会社鈴木理アトリエ」
鈴木 理氏　室賀 香織氏

住宅の新築はもちろん、リフォームやリノベーションの設計も数多く手がけてきましたが、ここまで縛りがなく、創造性や発想力を試されるケースは初めて。なので私たちも、フリーランスの若いカップル、アウトドア志向のアクティブな家族、趣味を大切にするシニア夫婦などその住宅に暮らす方々を自由に想定し、ワクワクしながら設計プランに取り組みました。おかげさまで、「畑のある家」「ヤギ小屋のある家」「夫婦の為の週末住宅」「カフェのある家」など、他にないユニークで独創的なプランが生まれたと思っています。

その一方それらが空想のプランになっては本末転倒。もちろんコストへの配慮も不可欠です。このため外観形状や基本的な構造、主要な柱など利用できる部分はしっかり活かすことを前提としました。もちろん耐震や断熱、積雪対応などの機能面に関しても、現在の建築基準を順守。大胆で個性あふれるイメージとそれを支える数々のスペック、その両方を成立させたプランとなっています。

何度か足を運んだ沼田町は、大きく広がる景色とコンパクトな街並みが魅力。私たちの描いたプランをきっかけに、このまちに暮らす方が一人でも増えたら…そんな思いを抱いています。



この住宅は、保育園や小学校が徒歩圏内の住宅地にあります。

広い裏庭を畑として耕し、自家栽培した野菜を使った料理教室を開ける子育て世帯のための住宅がイメージです。

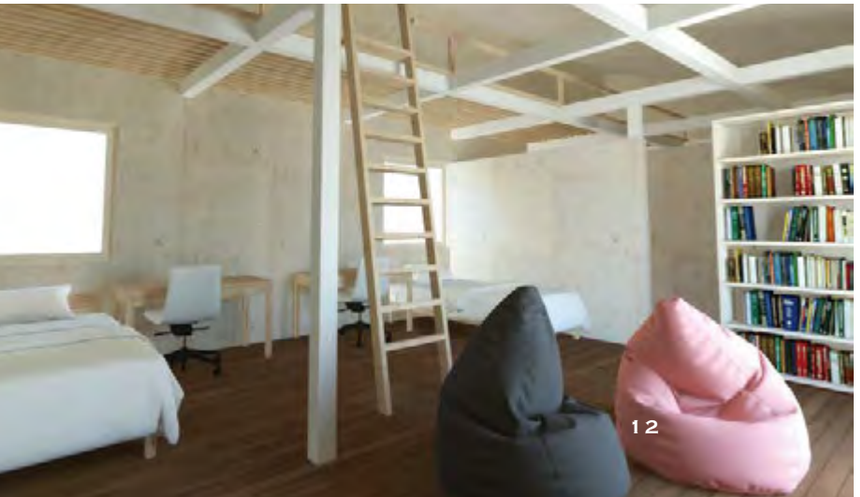
子供と一緒に土いじりをし、新鮮な野菜を食べる、素朴ですが食と寄り添う安心な生活の場となる提案としました。

1階はエントランスから裏の畑へと続く「通り土間」と、リビングダイニングを含めた広い「集い土間」を設けました。ここでは農具の手入れや、栽培の下準備、とってきた野菜を土のまま一時保管、調理、食事という一連の生活行為を、一つの空間の中で行うことができるのが特徴です。

2階は、バルコニーに面したフリースペースがあり、天井を取り払って、ロフトを設けています。

保育園や小学校が徒歩圏内。
子育て世帯のための住宅です。

1



改修の主な内容

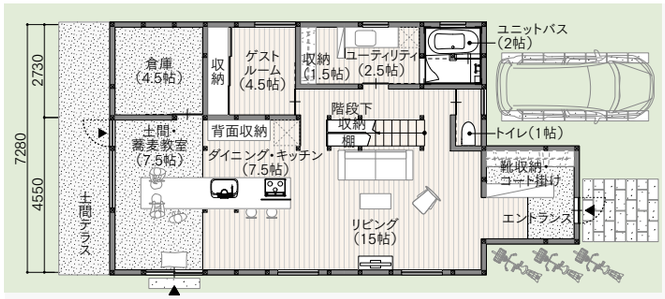
- ◎傷んだ外壁を木の板に貼替え
- ◎新しい断熱材に交換
- ◎断熱性の高い木製の窓に交換
- ◎急な階段の作り変え
- ◎古いキッチン、トイレ、UBの交換
- ◎無垢フローリングと塗装壁天井

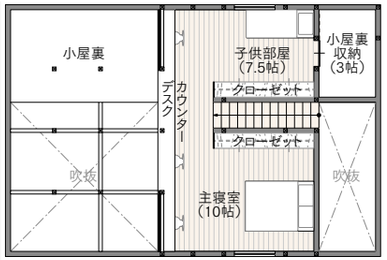
面積表

1階床面積	65.42㎡（20坪）
2階床面積	60.45㎡（18坪）
ロフト	18.22㎡（6坪）
延床面積	144.09㎡（44坪）

畑のある家

NUMATA'S RENOVATION





蕎麦教室のある家

NUMATA'S RENOVATION

蕎麦の教室を行う、子どもをもつ夫婦のための併用住宅を、イメージしています。

2

この住宅は、中心市街地に近い住宅地の開けた土地で、沼田町の特産品である蕎麦の教室を行う、子どもをもつ夫婦のための併用住宅として、提案しています。

既存家屋は、土間の倉庫が特徴的で、間仕切り壁を取り払って、土間と一体利用できる30帖のLDKとしました。

フローリングから土間にわたる大きなダイニングキッチンは、料理や蕎麦教室を楽しんだりする場所となります。

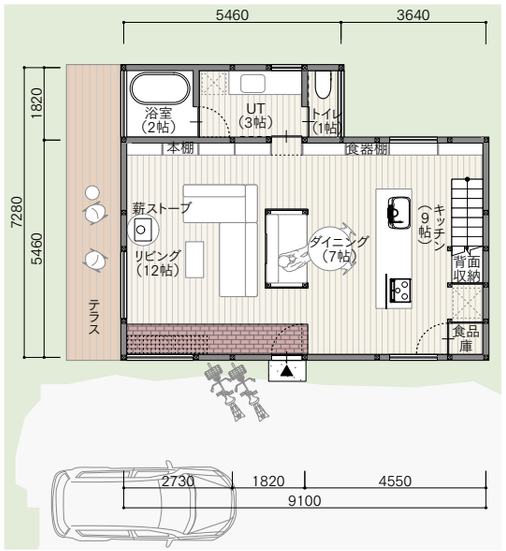
2階は、障子戸のある吹抜に面したカウンターデスクで、親子並んで勉強や読書の時間を楽しむプライベートな場所です。

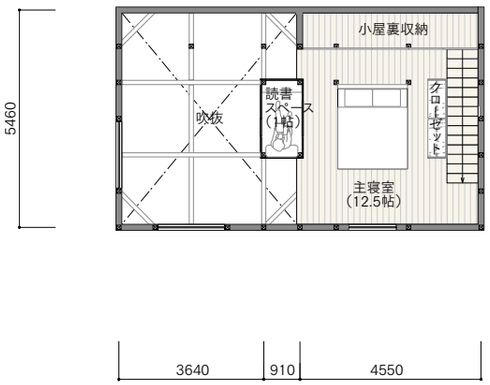
改修の主な内容

- ◎傷んだ外壁を、ガルバリウム鋼板と木の板に貼替え
- ◎新しい断熱材に交換
- ◎断熱性の高い木製の窓に交換
- ◎急な階段の作り変え
- ◎古いキッチン、トイレ、UBの交換
- ◎無垢フローリングと塗装の壁天井

面積表

1階床面積	86.95㎡(26坪)
1階床面積	33.12㎡(10坪)
延床面積	120.07㎡(36坪)





夫婦の為の週末住宅

NUMATA'S RENOVATION

夫婦が
ゆっくり過ごすための
週末住宅として
提案しました。

3

目の前に流れる川とその周りに青々と茂った木々。遠くに見える山々。

ここは沼田町の広大な自然に囲まれながら、夫婦がゆっくり過ごすための週末住宅として提案しました。

リビングは吹抜となっていて、緑豊かな景色を取り込む大きな木製の窓としています。ダイニングキッチンは、爽やかな朝日の元で朝食を取れる東の窓と、夕日を感じながらゆったり晩ご飯を食べる西の窓の2つの窓で、食事を楽しむことができます。

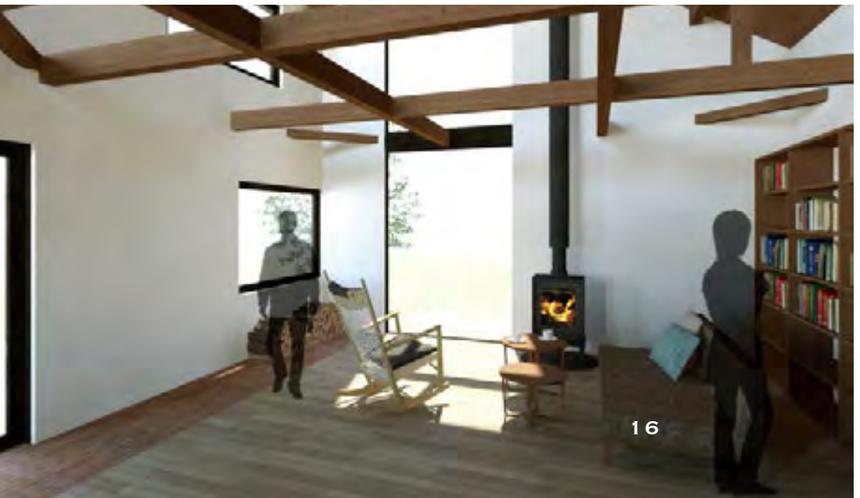
広々としたリビングとダイニングキッチンの間には、既存の柱を利用した1帖の小さく囲まれた空間があり、集中して作業をしたり、読書の世界に浸ったりできるので、夫婦が想い想いの時を過ごすこともできます。

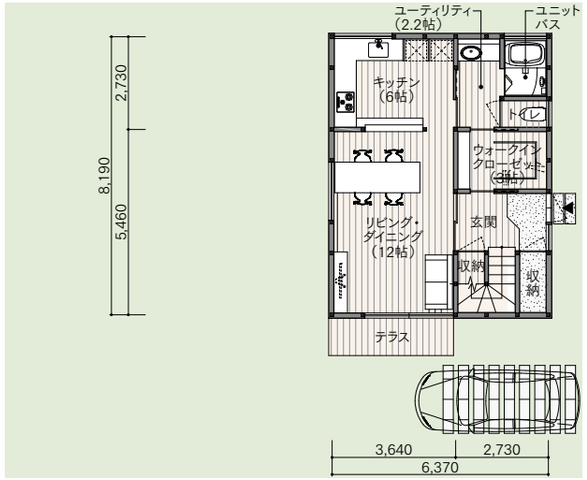
改修の主な内容

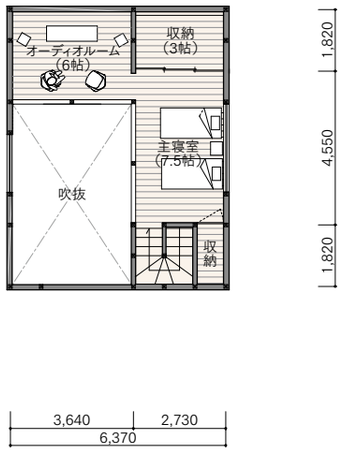
- ◎傷んだ外壁を木の板に貼替え
- ◎新しい断熱材に交換
- ◎断熱性の高い木製の窓に交換
- ◎急な階段の作り変え
- ◎古いキッチン、トイレ、UBの交換
- ◎無垢フローリングと塗装の壁天井

面積表

1階床面積	60.72㎡(18坪)
2階床面積	24.83㎡(8坪)
延床面積	85.55㎡(26坪)







オーディオルームのある住宅

NUMATA'S RENOVATION

夫婦ふたり 音楽を楽しみながら 暮らせる心やすまる 住宅プラン。

4

診療所まで徒歩5分程度、交通の便もいい住宅地にある延べ床25坪程のコンパクトな住宅を夫婦で趣味を楽しみながら暮らす住宅として提案しました。

暮らしの中心となるリビング・ダイニングは、諸室を分断していた間仕切りを取り払い、上部を吹抜けとすることで実際以上に広がりを感じられる空間としました。

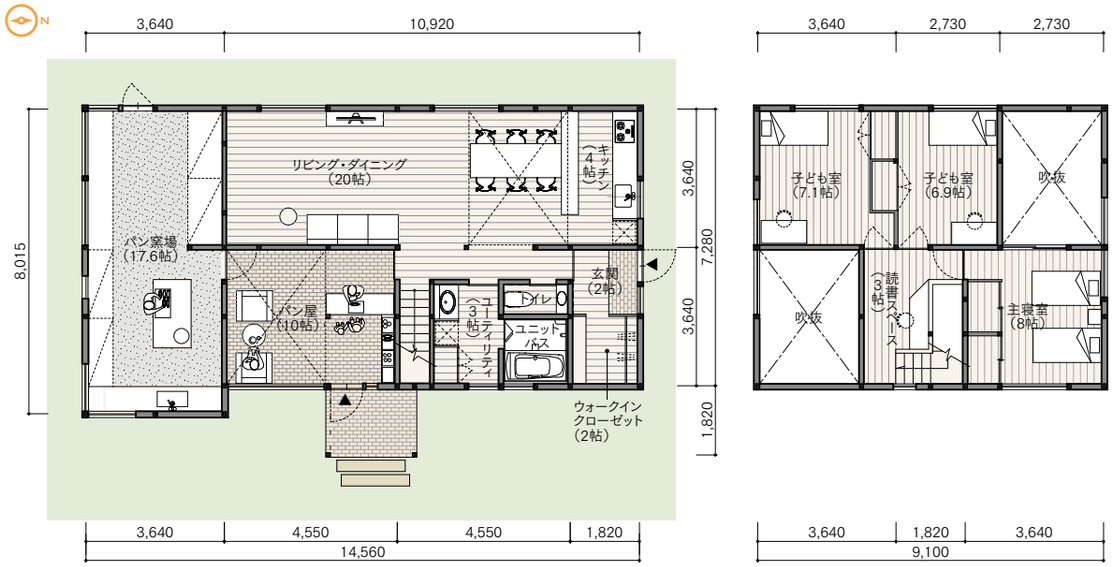
オーディオルームは天井が傾斜し屋根裏の秘密基地のような雰囲気になっています。吹抜けを介して上下階がつながっているので、食事の準備などをしながら一緒に音楽を楽しむことができます。キッチン、ユーティリティ、ウォークインクローゼットと家事動線が効率的であるよう工夫し、通院が多くなる年齢まで長く暮らせる住宅を目指しました。

改修の主な内容

- ◎傷んだ外壁を木板に貼替え
- ◎新しい断熱材に交換
- ◎断熱性の高い木製窓に交換
- ◎急な階段の作り替え
- ◎古いキッチン、トイレ、浴室を交換
- ◎無垢フローリングと塗装の壁天井

面積表

1階床面積	52.17㎡(15.78坪)
2階床面積	32.29㎡(9.76坪)
延床面積	84.46㎡(25.54坪)



この住宅は一般道路から農道へ入り少し上った小高い土地にあり、３６０度まわりをぐるっと農地に囲まれ、遠くには山々が見渡せる田舎らしいのびやかな敷地にあります。この恵まれた環境と延床50坪の大きな面積を活かし、パン屋を営みながら子育てをする家族の店舗兼住宅として計画しました。

パン窯場は既存の土間スペースを活かし、売り場は小さいながらも上部を吹抜けとすることで空間に広がりができました。

住宅部分は諸室を細かく分断していた既存の間仕切り壁を取り払い、大きなリビング・ダイニングとしました。ダイニング上部は吹抜けとし高さ方向にも開放感を感じられるように工夫しました。農地の風景の中で子育てと仕事を楽しみながらのびのびと暮らす家族のための住宅です。

パン屋を営みながら子育てをする店舗兼住宅の提案です。

5

改修の主な内容

- ◎傷んだ外壁をリシン吹付け壁に変更
- ◎新しい断熱材に交換
- ◎断熱性の高い木製窓に交換
- ◎古いキッチン、トイレ、浴室を交換
- ◎無垢フローリングと塗装の壁天井

面積表

1階床面積	112.82㎡（34.12坪）
2階床面積	46.36㎡（14.02坪）
延床面積	159.18㎡（48.15坪）

丘の上のパン屋さん

NUMATA'S RENOVATION

コミュニティスペースのある家

NUMATA'S RENOVATION

移住者、地元住民、移住希望者などが交流できる住まいを提案しました。

6

この住宅は、JR石狩沼田駅がある街の中心部にほど近い住宅地にあります。

地元の人が多く暮らすこの場所で、移住者、地元住民、移住希望者などが交流できる場を提案しました。

南側の部屋は間仕切り壁を取り払ったLDKと、部屋の中まで連続する大きなデッキテラスで、内から外まで広がりのある空間としました。LDKからデッキテラスまで続く大きなテーブルは、普段はダイニングテーブルや作業台となり、天気の良い日は外で朝食をとったり、近所の人とお茶を楽しむテラステーブルとなります。テラス窓を開けると大勢が集まれるテーブルにもなります。

2階は夫婦の仕事場と主寝室で、プライベートな落ち着いたスペースも確保しています。

改修の主な内容

- ◎傷んだ外壁を、タイルに貼替え
- ◎新しい断熱材に交換
- ◎断熱性の高い木製の窓に交換
- ◎急な階段の作り変え
- ◎古いキッチン、トイレ、UBの交換
- ◎無垢フローリングと塗装の壁天井

面積表

1階床面積	47.62 ㎡(14 坪)
2階床面積	52.58 ㎡(16坪)
延床面積	100.20 ㎡(30坪)

アトリエのある家

NUMATA'S RENOVATION

コンパクトでありながら、室内は広々。静かな郊外で趣味を楽しむことができます。

7

この住宅は、市街地から少し離れた郊外の住宅地にあります。

落ち着きが感じられるこの場所に、趣味の絵画を楽しむアトリエのある住宅を提案しました。

部屋ごとに区切られていた既存の間仕切り壁と天井を取り払い、小屋組みが見える天井の高い空間とし、新たに設けた間仕切り壁は2.1mと低く抑えた木の板としました。そうすることで、高さ方向により広がりが感じられ、22坪のコンパクトな住宅でも広々と感じることができます。

大きな屋根の下に、木箱の様な個室が、小屋組みの天井を介してゆるやかに繋がっています。

LDKにいる時も個室にある家型の小窓から、お互いの様子を感じたり、会話を楽しみながら、趣味も楽しむ事ができます。

改修の主な内容

- ◎外壁の塗装塗り直し
- ◎断熱改修
- ◎断熱性の高い木製窓に交換
- ◎古いキッチン、トイレ、UBの交換
- ◎無垢フローリングと塗装の壁天井

面積表

1階床面積	72.87㎡(22坪)
延床面積	72.87㎡(22坪)

NUMATA'S RENOVATION

親子三世代の家

二世帯でも住み心地の良い住宅にリノベーションしています。

8

この住宅は、郊外にあるJR恵比島駅に近く、周囲に緑が広がる場所にあります。子世帯のUターンをきっかけに、親世帯との二世帯住宅をイメージしました。

間仕切り壁はほとんど既存のまま。二世帯でも住み心地の良い住宅としています。

部屋の隅にあったキッチンをリビング・ダイニングに移設し、部屋が見渡せる対面キッチンにしました。キッチンがあった場所は、親夫婦の部屋として、縁側のある小上がり部屋にしています。

祖父母がいる小上がりに座り、横にあるカウンターで宿題をしたり、家事の合間にちょっと腰をかけて一息ついたり、家族の時間が自然とできる住宅です。

2階は子世帯の個室とフリースペースにして、世帯ごとのプライベートなスペースも確保しました。

改修の主な内容

- ◎傷んだ外壁を、ガルバリウム鋼板に張替え
- ◎開放的なオープンキッチンに交換
- ◎壁天井のクロスの張替え

面積表

1階床面積	75.06㎡(23坪)
2階床面積	56.31㎡(17坪)
延床面積	131.27㎡(40坪)

NUMATA'S RENOVATION

ヤギ小屋のある家

命と自然の尊さを再確認できる家族の住宅を提案してみました。

9

この住宅は、郊外にあるJR恵比島駅に近く、平野の先にある山並みを一望できる自然豊かな風景が広がる場所にあります。

広い庭のあるこの土地で、木のカトラリー工房と、室内でも飼育できるミニヤギと暮らし、命と自然を再確認できる家族の住宅を提案しました。

細かく仕切られていたエントランスは間仕切りを取り払って、ゆったりとしたエントランスホールと、ヤギ小屋としました。ヤギ小屋を挟んで東側は住宅、西側は6坪の小さな工房と倉庫にしました。

ヤギ小屋とエントランスからは直接ヤギの庭へ出ることができ、ヤギと一緒に思いきり走り回る事もできます。

工房には商品を並べる棚もあり、訪れたお客さんとお話したり、工房の見学もできます。

改修の主な内容

- ◎傷んだ外壁を木の板に張替え
- ◎新しい断熱材に交換
- ◎古いキッチン、トイレ、UBの交換
- ◎無垢フローリングと塗装の壁天井

面積表

1階床面積	177.21㎡(54坪)
延床面積	177.21㎡(54坪)

大きなガレージのある住宅

NUMATA'S RENOVATION

十分な面積を利用し、子育て世代のための住宅としてプランニングしました。

10

小学校と中学校まで徒歩5分程度の住宅地にあり、延床35坪と十分な面積があることから子育て世代のための住宅としてイメージしました。

玄関前には鉄骨のガレージがあります。沼田町は雪が多く、また夏には目隠しのタープをかけてバーベキューやハンモック遊びができることからガレージを残し、玄関前が明るく風通しが良くなるよう既存の両側の壁を取り払いました。

1階は既存の間仕切り壁を取り払い大きなひと続きのリビング・ダイニングに。和室は祖父母や友人などの来客時に客間として使えるよう引き戸で間仕切れます。2階の子ども部屋は最小限の面積とし、代わりに家族全員で使える読書スペースを設け子どもたちが部屋にこもりっきりにならないよう工夫しました。

改修の主な内容

- ◎傷んだ外壁をリシン吹付け壁に変更
- ◎新しい断熱材に交換
- ◎断熱性の高いアルミ樹脂複合窓に交換
- ◎古いキッチン、トイレ、浴室を交換
- ◎無垢フローリングと塗装の壁天井

面積表

1階床面積	71.21㎡(21.54坪)
2階床面積	46.37㎡(14.02坪)
延床面積	117.58㎡(35.56坪)

カフェのある家

NUMATA'S RENOVATION

地元の方々の憩いの場となるカフェ併用住宅を提案しました。

11

この住宅は、沼田町役場や学校のある中心市街地に建っています。

地元の方が集まるこの場所で、想い想いの時を過ごしながら、皆の憩いの場となるカフェ併用住宅を提案しました。

お客さんが入りやすく、広々とした1階をカフェスペース、眺めや日当りの良い2階を住宅としています。カフェスペースと住宅の間には壁を追加して、プライベートな空間も確保しています。

カフェスペースは、店主と気軽に会話ができるカウンター席、のんびりくつろげるソファー席、青空の下でお茶を楽しめるテラス席と、その日の気分によって好きな席を選べます。

住宅スペースは、夫婦が一緒に過ごすリビングに、書斎が隣接しています。書斎は本棚でゆるやかに仕切っているのでお互いの気配を感じる事ができます。

改修の主な内容

- ◎傷んだ外壁を、木の板に張替え
- ◎新しい断熱材に交換
- ◎断熱性の高い木製の窓に交換
- ◎キッチン、トイレ、UBの新設
- ◎無垢フローリングと塗装の壁天井

面積表

1階床面積	105.17㎡(32坪)
2階床面積	65.42㎡(20坪)
延床面積	170.59㎡(52坪)

沼田町に
移住した家族

沼田町観光協会職員
花田 知幸さん あきさん

町ぐるみで子育てする。そんな温かさにあふれています。

ちょうどよく田舎、
ちょうどよく便利なまち

愛らしい二人の娘に優しい眼差しを向けるのは、花田知幸さん、あきさんご夫妻。平成28年4月に旭川市から沼田町に移り住みました。

ご結婚は五年ほど前。その翌年には第一子が誕生、さらに二年後にあきさんは第二子を妊娠します。ご夫婦が真剣に移住を考え始めたのもちょうどその頃。知幸さんがこう振り返ります。

「一番気がかりだったのは子育てですね。地方都市とはいえ、旭川はやはり都会。ご近所づきあいが少ない環境、希望の保育園に入れるか不安のある街で子供たちを育てていくのは、どうなんだろうと」

もともとご夫婦ともに田舎が好きだったこともあり、さっそく移住先探しをスタート。ネットで調べたり実際に町を訪ねたりする中で、沼田町の存在を知ります。

際のハードルのひとつとなりました。

「町が紹介してくれる介護の仕事も考えましたが、町の方々と繋がる方が先決と考え、運良く募集していた地域おこし協力隊の仕事に就きました。現在の担当は観光ＰＲ。物産展に参加したりふるさと納税の受付や発送をしたりと、沼田町を知る上では最高の仕事だと実感しています。たくさんの町民と知り合う機会にもなりましたし」

知り合いがひとり増える度に知幸さんが感じること。それは「お世辞ではなくやさしい人、温かい人ばかり」ということ。あきさんが言葉を継ぎます。

「庭づくりに奮闘していたらいつの間にかご近所さんが手伝ってくれたり、とれたての野菜や晩ごはんのおかずをおすそ分けしてくれたり。娘と公園に行くとだれかれなく話しかけてくれますし、保育園の保育士さんも気さくで親身な人ばかり。私のように人付き合いが得意じゃない人でも、ごく自然に住民の輪に迎え入れてもらえる、それが沼田町のいいところだと思っています」

さんが笑顔で話します。

「待機児童がいないことにまず驚きました。学童保育を始め、行政の補助や支援も万全ですし、小中学校の学習教育環境も整っています。町内を歩くと子供たちが笑顔で挨拶してくれるし、公園で幼児が一人で遊んでいるのも、子供たちに住民の方々が声をかけるのもごく日常の風景なんです」

ここなら安心、この町なら二人の大切な子供たちを伸び伸びと育ててあげられる。こうして四人の家族は沼田町を第二の故郷に決めました。

やさしい人ばかりを
家族みんなが実感しています。

ご主人の知幸さんの前職は大型トラックの運転手。当然仕事探しは、移住を決める

マチを歩いてると
子供や住民が挨拶してくれる。
心が温かくなります。

お子さんも通う沼田小学校。広いグラウンドをかけまわる子どもたちの元気な声に、町に住む人々も癒やされます。

沼田町に
移住した家族

photo 畠山雄豪（ゆうごう）

一級建築士
山本 郁江さん
山本 洋一郎さん

奇遇なドラマの末に家族で故郷に「移住」しました。

ご主人の転職がきっかけで沼田町に運命のUターン

沼田町のマチナカ近くの公営住宅。その1軒のチャイムを鳴らすと、ドアの向こうから「ようこそ」の声と共にやさしそうな笑顔が表れました。お名前は山本郁江さん。二年ほど前東京から沼田町へと転居し、現在はご主人と娘さんの3人家族で暮らしています。

では移住者なのですねと言うと、郁江さんはニッコリ笑いながら首を横に振りました。「実は出身が沼田町。なので私だけはUターンということになります」

聞けばそのUターンの経緯がなかなかユニーク。

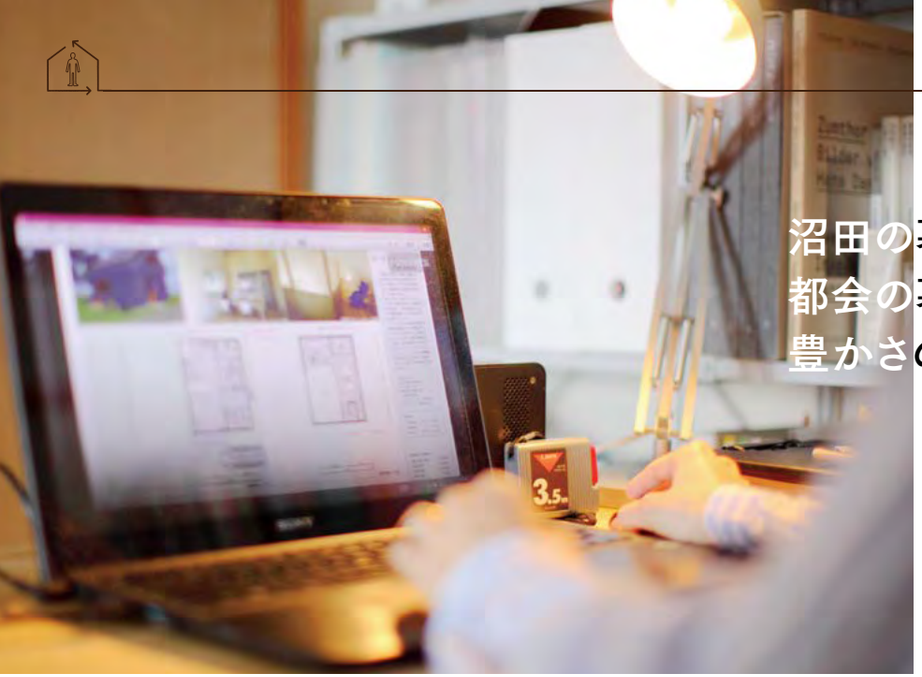
「北海道大学で建築を学び卒業後は、大手ゼネコンや東京の設計事務所に勤務しました。その間、同じ一級建築士の主人と結婚も。この先も東京で暮らしていくつもりでしたが、主人がまちづくりをする仕事へと転職したんです。そこで担当となったのが、私の故郷の沼田町のプロジェクトでした」

地域の人たちと話し合い、一緒に考えながら進めるまちづくりの仕事は長期に渡るのが常。さらに郁江さんが赤ちゃんを身籠ったこともあり、夫婦は沼田町への移住を決めます。

「実家もありますし、行政の子育て支援も手厚い。保育所の環境も整っています。私にとっては、願ったり叶ったりの転居でした」

都会生活が長かったご主人は雪の多さには驚いたものの、開放感たっぷりの風景や夜空に広がる星の美しさ、銀行も役場も病院も集中するコンパクトな市街地、なにより心あたたかな町民に魅了され、たちまち沼田町ファンになったとか。

「町中をドライブしては、映画のワンシーンになりそうな風景だねなんて、二人で話しているんです」



沼田の暮らしと都会の暮らしの違いは豊かさの差です。

「家族で暮らす家というイメージをベースに、私たちが住むならこんな家に…そんなワクワクした気持ちで設計しました」と山本さん。

家族の暮らしを楽しむ一方地域に根ざした仕事も

沼田ライフがスタートして3ヶ月後にはお子様が誕生。郁江さんは設計事務所を立ち上げ、子育ての合間を縫い設計や施工監理の仕事に取り組んできました。

「一年に数件程度のスローペースですが、育児との両立を考えるとまさに身の丈ですね」

平成28年秋そんな郁江さんのもとに、一風変わった依頼が届きます。それはマチナカの空き家を魅力的な住まいに再生させるというもの。実は郁江さんは、今回のリノベーション住宅プロジェクトの設計担当の一人でもあるのです。

「空き家を壊すのではなく、そこにもう一度生命を吹き込み市街地を活性化するという心底共感できる取り組み。我が故郷ということもあり、自分なりに力いっぱい取り組みました」

沼田に移住して二年。住めば住むほど、住み続けたくなると郁江さんはいいます。

「家族の穏やかな暮らしを楽しむ一方で、仕事もちゃんと続けたい。思い描いているのは田舎の建築家。コミュニティアーキテクト、という地域に根差した建築家です。視点を少しかえるだけで田舎の暮らしはもっと楽しくなる、そのお手伝いをしたいと思っています」

INTERVIEW

沼田町に
移住した家族

農家
姜 申普さん 八千子さん

農家になるという夢をみんなで支えてくれたんです。

新規就農の夢を抱いて滋賀県から北海道へ。

沼田町への移住前、姜さんご夫妻が暮らしていたのは滋賀県。

「家業を継ぎ、建設業を営んでいました。ただ建設は景気に大きく左右される業界。収入も不安定だったため、先行きを考えると早めに将来を考え直した方がいいと」

たまたま副業で稲作も手がけていたため、姜さんは「やるなら収入も安定した稲作農家」と考えるように。ネットなどで情報を集める中、広大なイメージや開放的な風土に惹かれ北海道での就農を思い立ちます。

「窓口になってくれたのは、北海道の農業担い手センター。そこで沼田町に跡継ぎを探している親方（生産者）がいることを教えてもらい、その方との何度かの面会の末に研修生として受け入れていただくことが決まったんです」

平成23年に滋賀県から沼田町へ。およそ三年の研修期間を経て、姜さんは無事に新規就農を果たします。

「親方の指導も丁寧でしたし役場の支援も心強かった。補助金付きの町営住宅を貸してもらえましたし、青年就農給付金や町の支援金も頂けました。さらにハウスを借りる費用も支援してくれたので、研修中にもかかわらず給料とは別の収入を得ることもできました」

そもそも15ヘクタールに及ぶ広大な農地を譲渡すること自体、本州では考えられないこと。行政や周辺農家の至れり尽くせりの対応もあり、姜さんは移住してすぐに沼田町での就農は大成功と確信します。

「今年で就農3年目。収穫率はずっと100%をキープ出来ていますし、近隣農家との作業や農業機械のシェアもあるため、現在の収入にはかなり満足しています」

迎え入れてくれる人々その優しさに心打たれて。

ここで気になるのは奥さまの八千子さんの心境。なんでもご出身は京都だとか。伝統から風習まで全く違う北海道に、しかも新規就農で移住することに抵抗はなかったのでしょうか。

「最初に話を聞いた時は驚きましたけれど、彼の人生を応援してあげたいという思いが強かったから反対はしませんでした」とニコリ。さらに八千子さん自身、一日一日と暮らしを重ねるほどに、沼田の町に魅了されるようになったといいます。

「とにかく人が温かい。ご近所もJAの女性部の集いも子育てサークルに来るお母さんも、なんでこんなに心が広い人ばかりなの?って思います」

とある主婦は「仕方なくにせよ、沼田町から転居する人がいるととても寂しい。だから姜さんご家族にはずっといてほしいな」と打ち明けてくれたとか。そんな本音の付き合いも沼田町ならではと八千子さんはいいます。

「そんな心が通い合う暮らしやすさがある一方で、ネット環境や交通網の充実が支える便利さも兼ね備えているのが沼田町。移住とか新規就農と耳にすると、何だかハードルが高い気がするかもしれないけれど、行動してしまえば他愛ないことですし、住めば誰もがこのまちの良さが分かるはず。京都生まれの私が言うんだから間違いないですよ（笑）」

（＊）基本的に北海道で就農するためには、研修生として2〜3年程度の農業経験を積むことが義務付けられています。（各自治体によってルールは異なります）

心が通い合う暮らしって こんなに豊かなんだなって 思うんです。

30代後半で新しい未来への決心。多くの人々に支えられ、夢を叶え、自身が収穫したお米には、その想いや苦労もつまっています。

「コーミ株式会社」常務取締役
牧戸 正博さん

愛知と沼田を結んだ トマトと絆の物語。

探していた売り先と産地。そして運命の出会いへ

1月のとある日。沼田町健康福祉総合センターの一室では、町内の農家の主婦を対象とした料理教室が開催されていました。参加されたみなさんのお目当ては、オリジナルトマトケチャップづくり。市販の商材とは一線を画すその味わいに室内のあちこちから「おいしい！」「初めての味！」の声が上がります。

この教室を開催しているのが、コーミ株式会社の取締役牧戸正博さん。

「当社は名古屋市に社屋を構えるソースやトマトケチャップなどを製造する食品メーカー。実は当社でつくっているトマトケチャップの原料の一部は、この沼田町から送り届けられているんです」

沼田町が加工用トマトの栽培を始めたのは昭和56年のこと。以来30年ほど生産は続きましたが、販路が広がらず原料の売れ残りが課題となっていました。それとほぼ同時期、愛知県のコーミ株式会社では、全く逆の悩みを抱えていたのです。牧戸さんはこう説明します。

「外国産トマトペーストの増加に加えて地球温暖化の影響もあり、これまで主産地だった愛知県では栽培面積が減少し続けていたんです」

原料を求めていたコーミと販売先を探す沼田町。運命に導かれるように両者が出会ったのは2011年のこと。

「まもなく商談はまとまりました。沼田と名古屋、距離の壁はありましたが、農産加工場でトマトピューレに加工してから運べばコストも削減できる。おぼろげな繋がりが確かな絆になった瞬間でした」

加工用トマトの一大産地へ大きく膨らむ沼田の夢

平成24年のコーミとの業務提携、平成26年の町営農産加工場「北のほたるファクトリー」の創業を経て、現在沼田町で生産される加工用トマトはコーミの製造工場へと運ばれています。

「今後食品メーカーが生き残っていくためには、産地形成（産地との信頼のパイプ作り）が欠かません。うちの会社と沼田町は運命共同体。ですから沼田町の活性化や発展のためなら、社を上げて様々な支援をしていきたいと思っています」

牧戸さんが町内で料理教室を開催したり、子供たちを対象にした食育活動に尽力するのもこうした考えから。町民との接点を増やしトマト栽培や共同事業に対する理解を深め、生産量の拡大や雇用の増加などに繋げていくのが、最終的な目的なのです。

「…というビジネスの視点もありますが、なにせ私はこのまちの大ファン。熱い町長も裏方で頑張る役場の人たちも、純朴で温かい生産者の方々もみんな好きです。会社と行政の関係の前に、人と人の信頼の絆や温かな繋がりを感じるから、ここまでやって来たしこれからもやっていける。そんな気がするんですよ」

生産者と、その食材を使い商品化する企業。
両者に心の通った人と人との関係があるからこそ、
「北海道産」「沼田町産」というブランドが意味を成します。

子育て

沼田保育園の保育料を国基準から80％減

第二子目以降保育料無料
※中学3年生までのお子様がいる場合

中学校卒業まで医療費が無料

冬季暖房費用一部助成
1世帯10、000円相当額の町内商品券をお渡しします
※中学生までのお子様扶養世帯

通勤費一部助成
町外へ通勤する際に掛かる費用の一部を町内商品券としてお渡しします
距離に応じて年間18、000円～72、000円分。※中学生までのお子様扶養世帯

高校生応援手当
高校に就学する生徒の保護者に対し、生徒1名につき月10、000円交付

充実した学童保育
月額保育料は無料～2、000円

右記以外にもまだまだ子育て助成は沢山あります。
詳細はお気軽にお問合せ下さい。

教育

学習サポート事業
水曜日の放課後と夏・冬休みの長期休み期間中を利用した
学習のサポートを行っています

補助教諭の配置
主に小学生1～2年を対象に、沼田町から補助教諭を1名配属し、
きめ細やかな学習指導に力をいれています

漢字検定・英語検定の受講料1回分全額補助
漢字検定は小学4年生～6年生まで、英語検定は中学校全学年対象

小学校体力向上事業
月1回、専門指導者によるコーディネーショントレーニング等の
基礎体力向上の指導を行っています

妊娠希望・妊娠中

特定不妊治療助成
治療に要した費用から北海道特定不妊治療費助成額を差し引いた
9割に相当する額を助成します※限度額15万円

成人風疹ワクチン予防接種助成
妊婦さんの風疹罹患予防のための風疹ワクチン接種費用を全額助成します

妊婦健診費用全額助成
回数制限はありません

妊婦健診にかかる交通費助成
沼田町からのJR運賃換算額、回数制限無し

健康

インフルエンザ予防接種助成
乳幼児～中学生まで全額助成、
高校生～69歳まで一部助成、70歳以上の方全額助成

肺炎球菌の予防接種費用助成
※65歳以上の方

各種健診実施
総合健診や女性の1日総合健診、子宮・乳がん検診などを実施しています

沼田小学校

沼田町の小学校は2013年1月21日から新校舎へと生まれ変わりました。豪雪地の沼田町では1年の半分が雪で閉ざされる環境にあるため、子どもの活動をできるだけ中で行うことが可能にできるよう広がりのある内部空間をつくりあげています。学校生活の中心場所には「ひかりの原っぱ」と呼ばれる吹き抜け空間をつくり、校舎と体育館を一体化したコンパクトな空間をつくり、全体がひとつの家のような一体感のある学習環境を実現しています。ひかりあふれる大きな吹き抜けから注ぎこむ自然光が子どもたちの成長を見守り、多目的スペースや教室内を明るく照らします。ゆったりとした大階段のある空間は子どもたちの読書スペースや発表の場にもなっています。また、幼稚園・小学校・中学校を一体として捉え、関係者が互いに一貫して連携し教育の方向性を共有し教育内容の充実を図っています。

働く

町内への引越し費用一部助成
沼田町内の企業に勤めている方又は勤め先が決まった方に町内商品券をお渡しします
※中学生までのお子様扶養世帯は100、000円相当額、その他の方は50、000円相当額）

新規就農応援事業
短期研修から将来的に沼田町内で新規参入を目指す方まで町単独の支援を行っています

店舗取得など支援事業
新規店舗開設や空き店舗取得、
賃貸空き店舗改修の場合など建設費用などの一部を助成します

住宅

さまざまな新築助成制度
年代毎に基本額が決まっており、そこに条件が合えば加算額も追加されます
※例／29歳で子ども2人の世帯が融雪溝沿線に土地を購入し、
沼田町の町内業者で新築住宅を建てた場合は合計520万円

中古住宅購入
50万円の助成がでます。さらに子育て世帯が取得し、
3年以内に200万円以上の改築を行う場合は100万円助成

融雪槽・ロードヒーティングの設置助成

老後

高齢者世帯の除雪費を一部助成

高齢者ハイヤー利用を一部助成

体力づくりも応援
パークゴルフ場やテニスコート・体育館・スキー場・プールなどの運動施設が充実しています

町営の養護老人ホーム・特別養護老人ホームがあります

インターネット

光ファイバー網が整備されています

お祭り・温泉

夜高あんどん祭り
毎年8月下旬に行われるこのお祭りは、
あんどん同士をぶつけ合う北海道で唯一の「喧嘩あんどん」で迫力満点です
数万人の観光客が訪れる沼田町一大イベントです

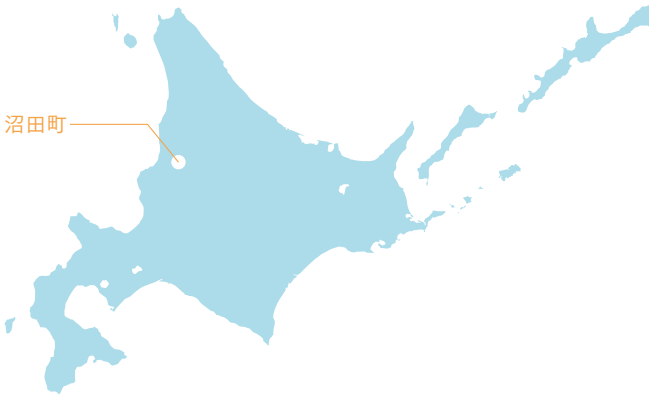
ほろしん温泉
沼田町公営の温泉施設があります。夏には露天風呂からほたるの観賞を行うことが出来ます
ほたるが飛び交う時期には『ほたる祭り』を開催し、イベントなども行っています

沼田町へのお問合せ

こちらの小冊子に掲載されているリノベーション住宅についてのお問合せや、沼田町に移住することに関してのお問合せ、沼田町の助成についての質問、働き先についてのご相談はこちらまでご連絡ください。
どんなことでもお気軽にお電話またはメールください。丁寧に対応いたします。

沼田町役場　住民生活課　移住定住応援室
電話番号：0164-35-2115
メール：jyuumin@town.numata.lg.jp

沼田町への移住・定住に興味のある方は
下記HPをぜひご覧下さい。
http://teiju.com/



◎発行
北海道沼田町役場
住民生活課 移住定住応援室
〒078-2202
北海道雨竜郡沼田町南1条3丁目6番53号
TEL 0164-35-2115
http://teiju.com/

沼田町 空き家リノベーションプロジェクト
つなぐらす

◎監修・制作管理・印刷
HAJ(株)北海道アルバイト情報社
北海道札幌市中央区南2条西6丁目13番地1
TEL 011-223-4896
http://www.haj.co.jp/

◎取材・編集
有限会社 シーズ
http://www.cs-sapporo.com/

2017年2月28日発行